



Global COE Seminar

第15回 離散幾何解析セミナー

日 時： 2011年2月7日(金) 午後1時-2時30分
場 所： 京都大学理学研究科3号館108号室
講演者： 池田 思朗氏 (統計数理研究所)
題 目： 確率測度の最適化と通信路容量

アブストラクト:

確率的に振舞う雑音のある通信路を用いた場合, 単位時間に伝達できる情報には上限があり, これが通信路容量である. この問題は一般には入力に関する確率測度の最適化の問題として定義される. 情報理論では, 様々な1次元通信路において適切な制約条件の下, 通信路容量を達成する入力分布が有限個の点からなる離散分布となることが知られている. この証明には複素関数論の一致の定理を用いる特徴がある. これまで行なった単一神経細胞通信路を例にこの証明の概要を説明し, 問題点と今後の発展について議論する.

* 日程と場所が変更になりましたのでご注意ください。